

2004. 11. 5

三第5回準備協議会報告三

ときわ台1・2丁目

ときわ台しゃれ街準備協議会事務局

第5回ときわ台しゃれ街準備協議会が10月24日(日)午後2時より常盤台1丁目集会所でおこなわれました。

今回はときわ台の現状について、ワークショップ形式で長、短両面を抽出しました。

1. 常盤台の現状について(ワークショップ)

1) プラス評価項目とマイナス評価項目の抽出 2) 集約分類結果一覧(計201枚)

分類	プラス評価の主な項目		マイナス評価の主な項目	
緑	20	・緑が多い ・街路樹が整っている ・野鳥がくる 等	10	・宅地内の緑が減少 ・公共の緑の管理が悪い 等
緑が多く、美しい等の自然環境を評価する一方で、住宅地内の緑の減少や公共による緑の管理に対する不満等、将来の環境の変化に対する不安のようなものが感じられる				
街、街並み	20	・街並みに落書きがある ・低層住宅地である ・インフラが整っている 等	14	・敷地の細分化、建て詰まり ・道路境界に建築が接近 ・高い塀、高い壁・電線、電柱が目障り 等
低層で落書きのある住宅地であることの評価はあるが、その住宅敷地が分割・建替えされることにより建て詰りや道路際に高い塀や壁が目立つようになって、現在の良好な住環境の悪化が懸念されている				
駅前・ロータリー	8	・ロータリーが整っている ・駅舎が良い 等	21	・駅前ビルの屋上看板が目障り ・ロータリー内の構築物が雑然としている ・駅前ビルの高さ 等
商店街が魅力に欠ける点や雑然とした駅前の看板、サイン類等にマイナス評価が出ているが、ロータリーが整っていることはプラス評価されている				
生活・人	8	・ゆとりがある ・地域に関心のある人が多い 等	17	・駅前や道路でのゴミやタバコの投捨て等
			15	・人づきあいに距離感がある ・公共スペースの使用ルールが守られてない等

道	19	・並木道、クルドサック、ロードベイ等道路 が良い　・計画的に良くできている ・道路が広い　等	20	・不法駐車が多い　・放置自転車が多い ・図書館脇の駐輪場が良くない　等
道路は計画的に、楽しく良くできているが、不法駐車、放置自転車、並木道の駐輪場への転用等、道路の管理や使い方・マナーが悪いとの指摘				
その他	4	・交通の便が良い　等	15	・治安が悪化している ・高齢者にやさしくない　等
引っ張り、空巣、変質者等、近年治安の悪化が進んでいる。また、公共空間の作りが、高齢者にやさしいユニバーサルデザインになっていないとの指摘がある				

2) 抽出されたプラス、マイナス評価から、・計画的に良くできている街だと分かる反面、それが崩れてきている。・商店街にマイナス評価が多く出たが、住民側の出席が多かった結果だろう。できれば商店側も多数出席して、住民・住宅地に対する意見も欲しい。・敷地の細分化＝街並み悪化だとは思わない。細分化せざるを得ない時に、どうしても環境を維持できる道を考えたい。・これだけインフラが整った街は少ないが、そのインフラ財産はこの街の価値を高める。街の価値が高まれば、財産価値も高まる。等の意見が出ました。皆様は如何お思いになりましたか？

2. 講演会のお知らせ (場所は未定 後日広報いたします)

景観法制定を指導された、西村幸夫東大教授の講演会を 12月12日(日)に開催いたします。

代表挨拶：「ときわ台しゃれ街準備協議会」において代表に選任されましたのでひととご挨拶申し上げます。経済成長一本槍の時代から、成熟化・少子高齢化の流れを受け時代は変わってきました。「風・空気」が変化したのです。皆様も時代の変化を感じませんか？この時期に東京都の「東京のしゃれた街並みづくり推進条例」の対象地区に我が街が選ばれました。そして6月「景観法」が成立しました。歴史的にも都市工学的にも田園調布・成城と並んで評価されておりますときわ台の街並みを、次代に縁豊かで調和の取れた街として引き継ぎたいと思っております。

目的達成のため微力ながら努力致しますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

中島 淑夫

3. その他

- 1) 会計担当を（島田さんに加えて）沢地喜彦さんに委嘱。
- 2) 町会の人達の出席を高める等、町会への働きかけが必要。
- 3) 次回は 11/23(祭) 13時～ 常盤台1丁目集会所に集合、町内巡回により現状を確認する。

編集後記

今、面白いことをやっているらしい。しゃれ街では、「ワークショップ」を実施しました。

ワークショップとは「アンケート型議論」のことです。ワークショップでは、みんなの意見をすべて拾い上げることができます。

次回は、商店街の方達も数名参加の予定で、町内巡回します。楽しみです。

商店街、住宅街共に有ってのしゃれ街です。我が街を良くするために“ひとこと言いたい”という方は是非ご参加ください。

(編集委員 久世、西村、野崎)